

競技職種実施要領

造園

Ver1.1_2025年 7月17日



本競技職種実施要領は、以下の内容で構成される。

1 はじめに	3
1.1 競技職種の名称	3
1.2 競技職種に関連する職務または職業の説明	3
2 技能五輪全国大会職業標準	4
2.1 技能五輪全国大会職業標準（項目及び配点率）	4
2.2 技能五輪全国大会職業標準（項目とその内容および相対重要性配点率（%））	5
3 採点方法、採点基準とその配点、公表方法	10
3.1 採点対象	10
3.2 採点基準	10
3.3 公表方法	11
4 競技課題の概要	11
4.1 競技課題の構成	11
4.2 競技課題作成上の要求事項	11
4.3 競技課題の公表	11
4.4 競技課題の変更	11
5 職種限定規則	12
6 実施要領	12
7 競技スケジュール	13
8 支給材料	14
9 選手持参工具・材料	15
10 競技会場設備基準	15

1 はじめに

1.1 競技職種の名称

造園

1.2 競技職種に関する職務または職業の説明

造園とは、樹木や石に関する深い知識、空間構成力やデザインセンスから、それらを表現するための施工技術まで、さまざまな要素を取り入れた職種です。より自然に近い景観へと、癒しを追及するクリエイターとも言えるでしょう。

仕事の現場は、住宅の庭だけでなく、公園や街路樹、学校、工場の緑化など幅広く、樹木や草花といった植物材料や石などの自然素材を扱うのが造園の特徴です。自然を相手にすることが大きな魅力で、小さな大自然を演出する仕事です。また、造園の仕事では、庭づくりはもとより、公園緑地や街並みを計画し、快適な住環境をつくることも重要な仕事です。設計、下準備、石組や植栽、細部の仕上げなど、人が心和む景観になるように工夫を凝らさなければなりません。

造園競技では、技の正確さ、スピードとともに、応用力も求められ、選手の総合的な技能の熟練度がポイントとなります。樹木という生き物を扱い、花が咲き、実がなり、四季折々によって景観が変わる自然を、自分の技と感性で創り上げます。

例えば石積みが自然石の場合は、ひとつとして同じ形状のもののがなく、どう配置し、積んでいくか、材料を見極め、手早く、図面どおりに仕上げる高度な技能が必要となります。また、庭を彩る草花の配色などのセンスも必要です。

2 技能五輪全国大会職業標準

2.1 技能五輪全国大会職業標準（項目及び配点率）

項目		配点率 (%)
1	作業の構成と管理	
2	顧客サービスとコミュニケーション	
3	庭園のデザインとデザインの解釈	
4	石、厚板、プレキャスト部材の成形と配置	
5	材料の切断やハードスケープ素材以外による垂直・水平構造物の組み立て	
6	下地、土壤と根覆い（マルチ）	
7	植栽及び植物（草木）のケア	
8	造園のテクノロジー（配管、電気、排水及び灌漑）	
9	水を利用した仕組み	

2.2 技能五輪全国大会職業標準（項目とその内容および相対重要性配点率（%））

項目とその内容		相対重要性 配点率（%）
1	作業の構成と管理	
	<p>各自は、以下を知り理解する必要がある：</p> <ul style="list-style-type: none"> いかにして庭をその環境に適合するよう設計するか、また規模、造園環境、位置、気象条件および物理的環境についてはどのような制約があり得るか。 庭は生きた素材を用いたダイナミックで変化する環境である。 地方計画や建設規制、また、それらがどのように造園術に関係し、影響を与えるか。 庭やオープンスペースが計画され造られる都市や農村環境の範囲 造園に関する持続可能性の問題、特に材料の調達と造園が環境や野生生物に与える影響に関する問題 安全衛生や環境に関連した法的要件と慣行 持続可能性と材料のリサイクルの重要性 造園家が使用する工具の種類と用途およびメンテナンス 造園家が使用する材料の種類 定められた予算内で仕事をすることの重要性 チームの一員として効果的に作業を行うことの重要性 複雑な技術的な図を解釈し、図案を描く方法 造園に関する、数学的計算と幾何学 寸法、立面図、空間認識 	
	<p>各自は以下を実施できること：</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な工具を安全に正しく使用する（例えばハンマー、のみ、卓上石切鋸、と手持ち電動工具）。 現場の清潔さと安全を確保する。 仕事のパターン、流れ、ロジスティクスを整えておく。 人間工学、安全衛生、個人の防護を考慮する。 健康とウェルビーイングの実現に向けた作業過程を適用する。 複雑な技術図面を解釈し、図案を描く。 資材（例えば石、木、植物、その他の天然資材）の調達 チームの一員として、他の職業の人たちと効率良く作業を行う。 合意されたタイムスケジュールと予算内で造園プロジェクトを完成させる。 	
2	顧客サービスとコミュニケーション	
	<p>各自は、以下を知り理解する必要がある：</p> <ul style="list-style-type: none"> 効果的かつ積極的な顧客との関係の重要性 チームワークや他業種との良い協調関係の重要性 正式な、または非公式なコミュニケーションの方法とその応用 ICT を活用したコミュニケーションや作業プロセスのサポート 	

	<p>各自は以下を実施できること :</p> <ul style="list-style-type: none"> 顧客の指示事項に従う。 プロジェクトの設計・作成と予算、計画や環境上の懸念といった制約について、顧客に助言とガイダンスを提供する。 継続的なメンテナンスに関するアドバイスと指導を提供する。 問題点の解決 顧客に優れたサービスを提供する。 作業プロセスや顧客サービスにさまざまな ICT を活用する。 	
3	庭園のデザインとデザインの解釈	
	<p>各自は、以下を知り理解する必要がある :</p> <ul style="list-style-type: none"> 好ましい庭園デザインの原則 庭園デザインの国際的、文化的な特徴 都市や市街地の庭園やオープンスペース、また、都市生活を支え、人々の生活の質を改善させる役目を持った有機体が環境に与える影響 思索のためや心の休息の場としての庭の利用 ハードスケープ（構造物による造園）、配管工事、電気装置の実用性 様々なスポーツ・サーフェース、その用途や設置 遊び場、スポーツエリア、地方公園、都市公園、レクリエーション場などの計画が必要な公共オープンスペースの種類 土壤の種類、それが植物や灌木、木々を支えるしくみ 庭園デザインに影響する環境要因（例えば天気、地形、面する方位、立地など） 庭やオープンスペースについて想定される利用方法または利用者、また、そうした利用方法あるいは利用者がどのように設計に影響するか 現代の庭園デザインの傾向 気候変動が造園の役割と範囲に与える影響 	
	<p>各自は以下を実施できること :</p> <ul style="list-style-type: none"> 顧客の指示事項に合わせた庭園の設計 環境の特徴を反映し、地形、立地、予想される気象条件、土壤の質、自然環境などを最大限に活かした庭園の設計 想定される使用者のニーズに合った庭園やオープンスペースの設計 環境への配慮と持続可能性に関する設計要件を特定し、それを満たす。 	
4	石、厚板、プレキャスト部材の成形と配置	
	<p>各自は、以下を知り理解する必要がある :</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象となる各構造の種類と個々の造園資材が最も活かされる方法に応じて要求される種々の設置方法 利用可能な石、厚板、花崗岩、プレキャスト部材の種類や用途 セメントや接着剤、支持材の種類や用途 水平、直立、角度や面積を計算し計測するために使用される機器 正確性の重要性 庭園のデザインと建設時に適用される数学の原理 ハードスケープ素材の供給元 	

	<p>各自は以下を実施できること :</p> <ul style="list-style-type: none"> 完成した庭園などの構造的安定性を確認するために地盤を評価する。 土木用工作機械（地ならし）と掘削機材、または手工具を用いて碎石層、基礎づくりのため表面をならす。 碎石層の要件を計算し、計画した場所に設置する。 様々な層をなす基礎材を用いる等により、様々な構造の骨材ベースを設置し、規定通りに隙間なく埋める。 掘削ズリ、ガレキを持続可能な方法で処分し、可能であればリサイクルし、環境に適切な配慮をする。 計画や寸法を読み取り、計画から施工の規模を見積もる。天然または人工の材料を要求されたサイズおよび/または形状に切断し、形づくり、切削する。 階段、壁、通路、中庭、小道など、指示に従って单一の製造物を配置する、および/または複数の製造物を組み合わせる。 ルース法・フィット法の両方を用いてハードスケープを作り上げる 適切なセメント、接着剤や支持材を正しく最も適切な状況で使用する 指示に従い、所望のハードスケープを作り上げる 測定値を実寸大で考え、適切な器具を用いて材料に切断用目印を付けるか、レイアウト用に張り糸で現場に目印をつける。 指示に従い、水平面や斜面に構造要素を設置する（舗道、階段、デッキ、ターフ（芝土）と「平面」のエリア）。 フェンスの支柱などの構造要素を垂直方向（鉛直）に設置する。 仕上げた表面について勾配の操作を行い、斜面に地上排水を作る。 周囲の環境と他の生物を保護する。 材料の保管、取扱い、移動、安全に関し、適切なロジスティクス戦略を適用する。 	
5	材料の切断やハードスケープ素材以外による垂直・水平構造物の組み立て	
	<p>各自は、以下を知り理解する必要がある :</p> <ul style="list-style-type: none"> 図面/仕様の指示に従い、材木/木の資材を切断し、継ぎ合わせる（特定の角度、角切り、斜角、留め継ぎなど） 水平、垂直、角度、面積等を計測、計算するための機材 正確性の重要性 庭園のデザインと建設時に適用される数学の原理 木材の種類と庭園用構造体でのその用途 庭園で使用される材木の長期メンテナンス 庭園の構造体に使用される金属フレーム、ガラス、安全な表面材などの資材の種類 	
	<p>各自は以下を実施できること :</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画や寸法を読み、計画から施工の規模を見積もる。 測定値を実寸大で考え、適切な器具を用いて材料に切断用目印を付けるか、レイアウト用に張り糸で現場に目印を付ける。 木材や木片を正確に計測し、指示通りに切断する。 材木/木片部材を、留め金具（例えは釘、ネジ、ボルト、ラグ、ブラケットや取り付け金具）で組み立てる。 	

	<ul style="list-style-type: none"> やすりがけ、スムージング、染色その他の特別な処置を行って材木/木片の組み立て品を仕上げる。 指示通りに、水平方向や斜面に構造部材を設置する（舗道、階段、デッキ、芝土および「平面」のエリア）。 フェンスの支柱などの構造部材を垂直方向（鉛直）に設置する。 仕上げた表面について勾配操作を行い、斜面に地上排水を作る。 遊具、バーベキュー、ガーデンファニチャー、小屋、サマーハウスなどの屋外/庭園用の機器についてアドバイス、調達、設置をする。 フェンス、境界ユニット、ゲートの設置 最終用途、周辺の状況および持続可能性を考慮して、最適な環境下で最良の材料を利用する。 	
6	下地、土壤と根覆い（マルチ）	
	<p>各自は、以下を知り理解する必要がある：</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な型と組成の土壤や植物生育培地 土壤の特徴や用途を決定するための評価や検査方法 様々な種類の土壤や植物生育培地が植栽に与える影響 土壤添加剤の種類、用途 泥炭のような自然生成物の使用が環境に与える影響 土壤を有機体と考えた場合の生息環境特性 様々な土壤添加剤、植物生育培地、根覆い、堆肥の機能 	
	<p>各自は以下を実施できること：</p> <ul style="list-style-type: none"> 指示された通りに、植栽のために土壤および/または土質改良剤を使用する。 植栽その他の目的のために有機および/または無機の根覆い材料を設置する。 土壤型や土壤添加剤に推奨用途を当てはめる。 土壤添加剤、植物生育培地、根覆い、堆肥を正しく使用する。 あらゆる種類の植栽や植林のための正確な土作り 所定通りに芝を敷き、地ならしし、水平にして土壤エリアを整備する 芝生の種まき用の土作り 最善の使用法を決定、評価するための土壤調査 	
7	植栽及び植物（草木）のケア	
	<p>各自は、以下を知り理解する必要がある：</p> <ul style="list-style-type: none"> 植物、灌木、野菜、ハーブ、果物、樹木の分類と植物学的な名称と、それらの最適な使用時期と方法 植物の成長と生育、動的な生育環境や庭園デザインに与える影響 様々な植物、灌木と樹木に好ましい条件 さまざまな種類の草や芝生素材とその最適な用途 様々な種類の植物、灌木と樹木の維持管理方法 植物、灌木と樹木を害する病気や害虫 害虫や病気の対処法 持続可能で自然に配慮した害虫や病気の対処方法 造園で使われる化学製品の安全な取扱い、用途やその保管方法 化学薬品の使用に関連した環境要因と持続可能な要因 	

	<p>各自は以下を実施できること :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パッケージや保護カバーを取り除き、植物の良好な状態を確保し、植栽に向けて植物や樹木の準備をする。 ・ 土作りや植栽エリアの整備 ・ 樹木や灌木の取扱いや植栽 ・ 多年生植物、一年生植物、地被植物を扱い、準備した植栽床に植える ・ 選んだ植物を、成長パターンと視覚的な効果を考慮して間隔を空けて植栽する。 ・ 造園の完成時に植栽エリアが成熟して自然に見えるように設計し、植栽する。 ・ 作物と鑑賞の両方に使える野菜やハーブを植栽する。 ・ 繙続的な植物の手入れを維持する。 ・ 指示に従い、ジョイントを使ってソッド/ターフまたは厚板を設置する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ターフエリアをローリングまたは平坦化して根塊と土壌を固め、突起や隙間、空間を除去して仕上げる。 ・ 芝生の種をまく。 ・ 芝生またはターフエリアに継続的な手入れとメンテナンスを施す。 	
8	造園のテクノロジー（配管、電気、排水及び灌漑）	
	<p>各自は、以下を知り理解する必要がある :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 庭園環境における配管や排水の原理 ・ 灌漑（給水）システムの原理と種類 ・ 雨水の集水、蓄水および利用 ・ 天水桶、貯水や灌漑システムの使用、設置と維持 ・ 庭園の電気装置の設置の原則 ・ 電気系・配管系製品の使用、設置や保守のための安全衛生要件と特徴 ・ 電気系製品、配管系製品の設置と使用に影響を及ぼす法律と特徴 	
	<p>各自は以下を実施できること :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 照明、冷却、音響・熱に関して指示された低電圧配線と構成部品の設置、接続、試験 ・ 排水管口、排水溝、地下配管や貯蔵タンク等の排水設備を指示通りに設置する ・ 雨水の集水、使用のための設備の設置 ・ 地中の灌漑システムの構成部品を指示通りに設置、接続、試験し、トラブルに対応する。 	
9	水を利用した仕組み	
	<p>各自は、以下を知り理解する必要がある :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 造園で使用される池、水景施設、噴水の種類 ・ 水景施設の設置方法と管理方法 ・ スイミングプール、温水タブの設置工程 ・ 池や水景施設用の適切な植栽法 <p>水景施設の継続的な清掃とメンテナンスの要件</p>	
	<p>各自は以下を実施できること :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 柔軟性のある池の中敷きと既成の池を設置する。 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・水生植物を池や湖に植える。 ・さまざまな水景施設の設置 ・スイミングプールや温水タブの設置 ・関連するすべてのポンプ、配管、清掃システムと電気系設備の設置とチェック水景施設と池の手入れとメンテナンスを続ける。 	
	合計	100

3 採点方法、採点基準とその配点、公表方法

3.1 採点対象

区分
作品採点
作業態度採点

3.2 採点基準

3. 2. 1 採点項目

	採点基準	配点
作品採点	客観評価	40点
	出来栄え	50点
作業態度採点	チームワーク	10点
	工具の取り扱い	
	安全作業	
	仕様書・図面の理解	
	作業現場の清潔さ	
合 計		100点

なお、次の2点を実施する。

- ①国際大会に準じてモジュール採点を行う。競技1日目（10月18日）の作業終了時までに、仕様2-1～2-5を完成させること。以上の工程を競技1日目（10月18日）に採点する。
- ②競技前日、課題の一部を変更する。10月17日の課題説明時に、変更内容を公表する。

3. 2. 2 採点方法

採点は採点基準（非公表）に基づき、加点法により行う

3.3 公表方法

主催者が指定する方法において、参加選手本人による照会の場合のみ、原則として競技結果（順位、得点）を伝達する

4 競技課題の概要

4.1 競技課題の構成

2人作業で、施工図面にしたがって5.0m×3.5mの区画内に、庭園を見栄え良く作庭する。石積み、石張り、小舗石や敷石の敷設、創作垣根、ベンチの製作、樹木や季節の草花の植栽、芝生張り等を行い、作業時間の10時間を使い切ると打切りになる。競技前日の課題一部変更のほか、国際大会に準じてモジュール採点もある。

4.2 競技課題作成上の要求事項

- (1) 支給された材料の品名、寸法、数量等が「競技用材料（支給材料）」のとおりであることを確認すること。
- (2) 競技開始後は、原則として支給材料の再支給はしない。

4.3 競技課題の公表

事前公表の競技課題は、原則として技能五輪大会開催の3ヶ月前に主催者ウェブサイトで公表する

ただし、10月17日開会式にて公表競技課題から一部変更した当日公表課題を提示する

4.4 競技課題の変更

事前公表競技課題に変更がある場合は、主催者ウェブサイトで公表する

5 職種限定規則

- (1) あらかじめ印をしたり、定規として準備してきた用具などの使用および型紙などの持ち込みを禁止する。
- (2) 競技中は、工具の貸し借りを禁止する。
- (3) 競技中に観客等と話をしたり、指導を受けたと判断されたときは、減点もしくは退場を命ずる。
- (4) 指定された範囲内で、安全に配慮して作業を行うこと。
- (5) 作業時の服装等は、作業に適したものとし、保護帽を着用すること。なお、保護メガネ、手袋を必要とする作業においては着用すること。
- (6) 競技中は携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等（メール、時計、電卓の使用を含む）の使用を禁ずる。
- (7) 競技中は課題と図面以外の参考を禁止とする。
- (8) 課題と図面にメモ等を書き入れて持ち込むことを禁止とする。
- (9) 作業が終了したら、競技委員に申し出ること。

6 実施要領

- (1) ベニヤ板を2枚、ブルーシートを1枚支給するので自由に使用して良い。ただしベニヤ板を土留めに使用することは不可とする。
- (2) 印刷方法等で課題図面の縮尺に誤差が発生した場合は、表示寸法を優先にすること。
- (3) 材料については都合により直前に変更することがある。
- (4) 競技終了後、課題の解体撤去作業を行う。

7 競技スケジュール

<10月17日（金）>

集合 10時20分

下見・説明 10時30分～12時00分

※ハサミ、手袋を持参すること。材料確認で植木の枝折りをはずす際にハサミが必要。

<10月18日（土）> 競技時間 6時間30分

集合 8時00分

説明 8時10分

競技 8時30分～12時00分

選手昼食 12時00分～13時00分

競技 13時00分～16時00分

<10月19日（日）> 競技時間 3時間30分

集合 8時00分

説明 8時10分

競技 8時30分～12時00分

選手昼食 12時00分～13時00分

解体撤去 13時30分～15時30分

8 支給材料

品 名	寸法又は規格	数 量	備 考
石材	φ 200~300mm	1.0 t	鵜沼碎石 (チャート)
	φ 50~250mm	1.0 t	
小舗石	90×90×90	100 個	
レンガ（花壇用）	210×100×60	70 枚	
ベンチ用木材	90×38×4000	2 枚	座面
	90×90×2000	2 枚	脚
	30×60×2000	1 本	根太
ベンチ用ビス	φ 3.8×50	64 本	
垣根用角材	90×90×1500	3 本	
垣根用唐竹	20 本じめ 4 節上り回り 70 mm内外	8 本	
垣根用平板材	90×15×3600	2 枚	
垣根用垂木	30×40×3000	3 本	
垣根用 L 型金具	60×60	6 個	
垣根用ビス	38 mm	36 本	
敷石	300×600×30	2 枚	
園路用丸太	φ 100×2000	3 本	
白砂利		6 袋	1.5 m ³
中木A	H2000	1 本	
中木B	H1800	1 本	
中木C	H1500	1 本	
低木A	H1000	2 株	
低木B	H300×W300	5 株	
低木C	H200	3 株	
下草・花		40 鉢	1.3 m ³ +自由課題分
高麗芝		5.0 m ²	
ウッドチップ		0.7 m ³	
ブルーシート	ロール 1800mm	適量	

9 選手持参工具・材料

- (1) 必要と思われる工具を持参して良いが、手作業で行うことを原則とするため電源（発電機も含む）を必要とする電動工具や油圧を使う工具については使用できない。
ただし垣根（自由課題）、ベンチ施工のビス止め等に使用する充電式インパクトドリルについては持参可とする。
- (2) 工具の大きさについては特に指定はないが、通常使用している標準的な工具とする。
- (3) 充電式ドリルの刃を交換してサンダーのように使用することはできない。

10 競技会場設備基準

設備の名称		寸 法 又 は 規 格	数 量	備 考
区 分	品 名			
設備類	作業区画	一区画 5000×3500 mm	出場組数分	<ul style="list-style-type: none"> 各区画は、角材を使い水平に枠を作り、枠上部まで山砂で盛土する（別添図を参照）。 加工にともなう端材及び剪定枝など集積場所を設ける。 会場周辺はフェンス等で囲い、夜間警備すること。
	ベニヤ板	900×1800×12mm 900×1800×5.5mm	出場組数分	
	客土		0.3 m ³	
運搬具	一輪車		出場組数分	

* 作業区画 平面

